

令和元年度 若草南小学校経営方針

I 学校教育目標

学校教育目標 「**学びを深め 心豊かな たくましい子ども**」

具 体 目 標

自ら学び 深く考える子ども (知)

豊かな心で 思いやりのある子ども (徳)

体をきたえ 最後までやりぬく子ども (体)

II 学校経営方針

- 1 学校教育目標の具現化に向け、共通理解のもと、教育活動全体を通して実践化を図る。
- 2 法令及び学習指導要領に示されているところに従い、知・徳・体の調和のとれた児童の育成をめざし、地域・学校の実態及び児童の発達段階等考慮し、特色ある学校づくりに努める。
- 3 学習指導要領に示された資質・能力、学びの内容、学び方の見通し等に配慮した学習指導方法・形態を工夫し、改善充実を目指すことで学力の向上を図る。(カリキュラム・マネジメントの充実)
- 4 体験的な学習・問題解決的な学習、個性を生かす教育の改善充実を図ることで、自ら学び、深く考え課題を見つけ、解決を図ろうとする資質・能力を高める。
- 5 望ましい生活習慣の定着を図り、何事も最後までやり抜く強い意志の育成を図る。
- 6 よりよい人間関係を築き、自他を尊重する豊かな人間性を培う。
- 7 自らの命は、自ら守る教育の一層の充実をはかる。(学校安全の推進：生活安全・交通安全・災害安全)
- 8 教職員が協力し支え合い、個々の持ち味を活かした連携・協働体制を確立し、活気に満ちた学校づくりに努める。(チーム若南)
- 9 教育専門家としての見識や教養を高めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を基盤にした校内研究の成果を基に一層の充実・発展をめざす。
- 10 家庭や地域社会との連携・協力を深め、地域に根ざした信頼される学校づくりを推し進める。
(地域と共にある学校)
- 11 定められた勤務時間内での教育活動の最適化を目指す。
(業務改善・多忙化解消に向けてのマネジメント)

III 目指す学校像 **学び合い 高め合い 信頼し合う 地域と共にある学校 笑顔あふれる学校**

IV 育てたい児童像 **ふるさとを愛する児童の育成 人の痛みがわかる児童** **< 若南プライド >**

若南プライド

地域の歴史・伝統・文化に気づき、自ら学び、体験する中で 地域に誇りを持ち、自尊心を高める積極的な活動に取り組む精神を醸成する。

自他の尊重・多様性を認め合う精神を醸成する。

V 学校経営の重点

1 「**自ら学び 深く考える子ども**」の育成を図る。

(教師集団による組織的・計画的・継続的な研究からの授業実践を展開する。)

- (1) 基礎的・基本的事項を着実に教え、確実な定着を図る。(反復繰り返し、定着化を図る)
- (2) 学習スタンダードに基づいた授業を実践する。(若南学習スタンダード、やまなしスタンダードの定着化)
- (3) 知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を高めるためのコミュニケーション能力の伸展を図る。
(協働的学習体制の充実、外国語教育の充実)

- (4) 体験的活動や地域教材・地域の人材活用，I C Tの利活用など積極的に取り入れ授業の活性化に努める。
(体験的活動，地域教材・人材の活用，I C Tの利活用)
- (5) 学習規律の確立を図る。(学習用具の準備，ノートの取り方，授業終始時の挨拶)
- (6) 家庭との連携・協力を図り，確かな学力の定着化をめざす。(宿題・自主課題の定着化，習慣化)

2 「豊かな心で 思いやりのある子ども」の育成を図る。

- (1) 共感的理解に努め，心が通い合う教育を推進する。
- (2) 自尊感情の育成を図る。(教育活動全体を通して，「自分を大切に思う心」の育成)
- (3) 学校教育全体を通して道徳教育をめざす。(考え議論する道徳 道徳教育の日常化)
- (4) より良い人間関係を築き，充実した学校生活を実現するための集団活動に取り組む。
(児童会活動，たてわり班活動の積極的な取組 自治的活動の醸成)
- (5) 読書活動・音楽活動を通して，豊かな情操・感性の育成を図る。
- (6) 豊かな人間性を育むため，充実した体験的活動に取り組む。
- (7) 礼儀正しい，規律ある学校をつくる。
 - ・場に応じた言葉使いができる。(丁寧な言葉遣い きれいな日本語)
 - ・基本的生活習慣の徹底を図る。(あいさつ・返事・靴そろえ・イス入れなど)
- (8) 美しい環境づくりに心がける。(無言清掃(黙働清掃))
- (9) 人間尊重の精神，社会生活上のルールなどの倫理観，夢や生きがい感の醸成を図る。
(まごころと思いやりの心 キャリア教育の充実)
- (10) 考え、議論する道徳の推進

3 「体をきたえ 最後までやりぬく子ども」の育成を図る。

- (1) 教育活動全体を通して，学校安全について実践的な指導を行い，日常の実践化を図る。
- (2) 給食の時間を中心に食育の充実に努める。
- (3) 粘り強く最後までやり抜く強い意志をもった心身共に健康な児童の育成を目指す。
- (4) 体力向上に向けて，充実した体育の時間・遊びの時間の確保，スポーツの奨励など積極的に推進する。(運動の日常化)

4 特別支援教育(特別支援学級・通級指導教室)の充実に努める。

- (1) 交流学級・在籍学級の担任，保護者・関係諸機関との連携を図り，指導の充実に努める。
- (2) 一人ひとりのニーズに応じた適時・適切な指導・教育相談に努め，また，地域における児童の教育に関するセンター的な役割が果たせるように努める。(サポートルームわかくさ)
- (3) 「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し，その活用を図る。

5 連携・協働し，支え合う教職員組織をつくる。

- (1) 全教職員の総力・創意を出し合い，連携・協働し，支え合う教職員組織をつくる。
- (2) 教育公務員としての自覚を持ち，厳正な服務規律の確保に努める。
- (3) 保護者や地域との連携・協力を大切にした教育活動を進める。(説明責任を意識した教育活動)

6 家庭や地域との連携の中で開かれた学校づくりを推進する。

- (1) 保護者や地域住民と連携・協力した教育活動を展開する。(連携・協力体制の確立)
- (2) 地域の一員としての自覚や地域を大切に思い，地域が誇れる心を醸成するための手立てとして地域の教材化と地域人材の活用，地域活動への積極的な参加を推進する。
(地域・地域人材の活用と地域行事への参加・地域貢献)
- (3) 積極的な情報発信に努める。(開かれた情報公開)